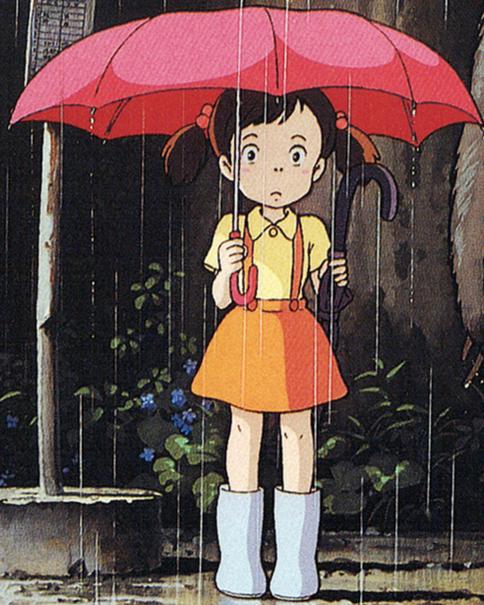


となりのトトロ

原作・脚本・監督 ■ 宮崎 駿

製作 ■ 徳間康快 徳間書店作品

このへんないきものは、
まだ日本にいるのです。たぶん。



忘れものを、届けにきました。



配給
東宝株式会社
199100-202

火垂るの墓

—— ほたるのはか ——

脚本・監督 ■ 高畑 勲

原作 ■ 野坂昭如 (新潮文庫)

製作 ■ 佐藤 亮一 新潮社作品

4歳と14歳で、
生きようと思った。



4月16日(土)より東宝系大公開!

只今特別前売券発売中!! ■ 一般 ¥1,200 ■ 学生 ¥1,100 ■ 小人 ¥800

(一般 ¥1,500 / 学生 ¥1,300 / 中学生 ¥1,200 / 小人 ¥1,000のところ)

相鉄東宝

日劇東宝

錦糸町江東劇場

川崎チネ4

渋谷宝塚

浅草東宝

大宮東宝白鳥座

上野東宝

蒲田宝塚

千葉京成サンセット

新宿東宝ビレッジ1

吉祥寺東宝

船橋ららぽーと東宝

新宿コマ東宝

八王子東宝

浦和ヴェルデ東宝

池袋東宝

横浜東宝シネマ1

東武松原シネマ1

となりのトトロ

▶解説

暖かくて哀しい勇気のドラマが登場します。野坂昭如の名作文学「火垂るの墓」(直木賞受賞作)がアニメーションとして完全映画化されるのです。

舞台は終戦前後の神戸。空に舞うB29の大編隊、夜闇を切り裂く焼夷弾の不気味な光、火傷を負った町はさらなる執拗な空襲に絶えず脅やかされています。食べることさえままならない死と隣り合わせの極限状況で、人々は己れの生にしがみつき、やむを得ないエゴイズムに陥ってゆきました。本作品の主人公は親を失った幼い兄妹。彼らは、戦中であるが故の世間の薄情にさえ背を向けました。兄妹2人だけで戦火の中を生き抜こうとしたのです。横穴式住居に住み、炊事も洗濯も自分達の手、菜園作り、川釣り、カエルの干物、時には畑ドロボーによる食料調達など、それは楽しくも辛い小さなサバイバルでした。しかし、戦争がひっ迫するにつれ、妹は目に見えて衰弱してゆきます。必死に看病する兄…。

たぎるような熱い兄妹愛とあまりに幼い潔癖な心が、この「命がけ

のままごと」に結晶されたのです。ここには、現代では忘れられがちな、やさしいたわりと無垢なる勇気を見ることが出来ます。

監督は、「太陽の王子・ホルスの大冒険」「ゼロ弾きのゴーシュ」他、映画・TVアニメの数々を手掛け、「風の谷のナウシカ」「天空の城ラピュタ」をプロデュースした高畑勲。最近作の初の実写ドキュメント「柳川堀割物語」も好評をもって迎えられました。

本作品では、細部にまで神経を注いだリアルな画像で戦火の町と兄妹のいたいけな生活を浮き彫りにし、観る者の心の奥底に迫ります。

タイトルにあるホタル(火垂る)とは、幼い命の象徴です。しかし、それは決して死ではなく、生の追求から発する光です。凄惨極まる戦況下において、兄妹が自分たちの力だけで生き抜こうとした「命がけのままごと」は、幼い命の生への燃焼といえるでしょう。胸をしめつけるようなぬくもりのメロディが「火垂るの墓」から聞こえてきます。

スタッフ

製作……………徳間康快
 企画……………山下辰巳
 "……………尾形英夫
 原作・脚本・監督……………宮崎駿
 作画監督……………佐藤好春
 美術監督……………男鹿和雄
 プロデューサー……………原徹
 制作……………スタジオジブリ
 音楽制作……………徳間ジャパン
 徳間書店作品
 配給・東宝

▶解説

「トトロ」って何? すっとぼけていて妙ちくりん、でも、どこかやさしくて暖かな響き。実は、それが「トトロ」そのものなのです。「トトロ」とはオバケの名前。毛むくじゃらでムクムクした愉快で可愛いオバケなのです。

この作品は、とある田舎に越して来た子供達と、昔からそこに住むオバケ達の心暖まるふれあいが、日常のエピソードを積み重ねながら、のどかに描かれます。トトロの他に、臆病モノのスワタリ、オバケ達を乗せて走り飛ぶネコバスなどの不思議な仲間が登場。これらのオバケ達は、心のきれいな子供の澄んだ瞳にしか映らない存在です。彼らは、お互いに言葉が通じないので誤解もしますが、大切なところでは心で通じ合います。生活を邪魔し合うことなく、時には傘を貸したり、そのお礼に木の実をもらったり、一緒に言葉にならない大

声で歌いながら踊ることもあります。「となりのトトロ」はこうした子供とオバケの「御近所づきあい」を描いた、ほのぼのアニメなのです。

時代は昭和30年代、自然と四季の美しさを世界に誇れる「日本」色が、田植え・五右衛門風呂・バス停などのいつかどこかで見た懐かしい風景を通し、アニメ特有の細密で色鮮やかな映像で織りなされます。

監督は「ルパン三世・カリオストロの城」、「風の谷のナウシカ」、「天空の城ラピュタ」など、アニメ映画史に次々と金字塔を打ちたたてた宮崎駿。いま最も眩しいスポットが当たるアニメ作家の新境地に熱い期待を寄せずにはられません。

子供とオバケのご近所づきあい。このファンタスティックな世界は、草と土の匂いを放ち、清らかで楽しく、必ずや誰をも幸せな気持ちにさせてくれるでしょう。

スタッフ

製作……………佐藤亮一
 原作……………野坂昭如
 (新潮文庫)
 脚本・監督……………高畑勲
 作画監督……………近藤喜文
 美術監督……………山本二三
 プロデューサー……………原徹
 制作……………スタジオジブリ
 音楽制作……………徳間ジャパン
 新潮社作品
 配給・東宝



火垂るの墓

—ほたるのはか—